

健康で心豊かな地域づくり

たかす

第158号

平成27年2月8日

千種町鷹巣自治会

雪に閉ざされて

強い寒波に舞う雪を震えながら窓越しに眺める毎日。読むともなしに古い随筆集をめぐっていると、宇宙飛行士毛利 衛氏の『宇宙的視野での「やさしさ」』という一文に出会った。以下、紹介してみる。

地球に住む私たちにとって、日々の生活の中で流れる時間は絶対的なものだと思われているが、宇宙から見た時、相対的なものであることがわかる。球形の地球は、太陽が照らし出す明るい部分が昼で、陰の暗い部分が夜なのが一目瞭然だ。地球上に住むすべての動植物には、この球の自転による昼夜の周期が一日になり、その繰り返し時間が概念を生むのだろう。一方、地球上空を九十分で周回するスペースシャトルの中では、地上での一日に十六回昼夜が巡

ってくる。地上の生活ペースをいきなり九十分サイクルに変えるのは不可能だが、二十四時間サイクルにこだわる必要はない。(中略)

また、一年の周期も、宇宙からはよく見える。私が飛行した昨年二月、北半球は冬であり南半球は夏だった。凍てつく大地が広がるシベリアと真夏の珊瑚礁が浮かぶオーストラリアがほぼ同時に見渡せる。

地球の一年、一日が九十分間隔でやってくるため、二十世紀の変わり目という時間は、船内にいる宇宙飛行士にとって、物理的、生物的にはそれほど意味を持たない。

太陽に照らされた地上の昼間に肉眼で識別できる生き物は、青黒く陸地に広がる森林と海洋に緑白色に輝く珊瑚礁くらいである。数十分ほどで、太陽の光が当たらない夜の地球に入る。森林や珊瑚礁はもう見えない。

それに代わって、陸地にはオレンジ色の光が網の目のように広がる。日本上空を通過すると、太平洋沿岸では、関東、東海、関西にかけ、ほとんど連続的に光の集まりが海岸線を縁取っている。昼間は見えなかった人間が、地球上いたるところに生活していたことがわかる。(中略)

巨視的・微視的な空間変化とともに、悠久から瞬間まで、様々な時間変化の中で、地球に生まれた生命は、環境変化に適応し、環境を変えながら、四十年、多様化し生き延びてきた。なかでも、人間は他の生命体にはない科学技術を使い、生き延びようとしている。

科学技術が創った新しい環境の中で、いかにバランス良く生命を維持できるか。そこで求められるのは、地球が宇宙空間にある多くの惑星の一つであることを人間の目で捉えた視点、すなわち物事を絶対化せず、相対的に見る視点である。

「地球及び宇宙をも視野に入れ、個人の立場をはっきりさせる強い意思、そして人間だけでなく生命全体の将来を考えるやさしさ」を二十一世紀のキーワードにしたい。

(平成十三年一月五日 読売)

新聞「論点」

宇宙に飛び出してみて、はじめて分かる時間の概念、スペースシャトルの中では、一日が九十分、とすると一日二十四時間は、それは絶対的なものではない。地球を離れてはじめて分かる時間の概念といえましょう。宇宙から見た日本の冬景色はどんなだったでしょう？地球上では今、人質問題・拉致問題・殺人事件と騒いでいるけれども、果たしてそんなことではないのでしょうか？

外は雪、そんな景色をこたつにあたって眺めながらのひと時でした。

鷹巣は、いま？

自治会告知板



一年を振り返って
自治会長 村上 一郎

遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。皆さん、お元気で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は自治会が執り行なう多くの事業や行事の推進に格別のご支援を賜り、誠に有難うございました。

自治会役員さんをはじめ各団体長さんには大変お世話になりました。

ました。廃品回収に始まり、クリン作戦、お盆の行事、八幡神社秋祭り、運動会、ふるさと集い、大とんど祭りと続き、二月一日の人権啓発映画会も寒い中、無事開催できました。皆様のご協力、本当に有難うございました。

次はお知らせです。

①昨年九月に防犯灯二九個のLED化が済み、残り六五個についてもLED化の許可が出ましたのでお知らせします。

②防犯カメラ一台設置について県より決定通知があり、県道出合いの鷹巣案内看板脇に設置する予定です。

③千草カントリークラブの名称が「アイランドカントリークラブ」が「アイランドカントリークラブ」に変更になります。経営者が変わったから。平成二六年度もあとわずかなりました。

毎月の『ふれあい喫茶』、『ふれあい食堂』をお世話頂いた女性グループの皆様、大変ご苦勞様でした。又、役員の皆様をはじめ多くの方々からご指導とご支援を賜りまして、本当に有難く心から感謝申し上げます。まだまだ寒い日が続くことでしょう、お身体には十分気を付けて元気に乗り切ってください。

活性化委員会使用



活性化委員長 金 本 秀 夫

今年は暖冬との気象庁の予想は外れ、積雪の多い寒い冬となりました。皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。暦の上ではもうすぐ立春、早く暖かい春の訪れが待たれます。

さて、鷹巣活性化委員会が設立され早くも四年を迎えることになりました。少しずつでもいから、やれることから始めようとしてた計画がようやく実を結びはじめたこの正月、神戸新聞社が取材に来て、二度も鷹巣活性化委員会についての記事を掲載してくれました。又、今までに旧東小学校の跡地をいかに利用していくかについて、各地の廃校跡へ研修に向き、施設や活動状況について勉強して参りましたが、今や他地域から鷹巣へ視察に来られたり、方々の自治体から話を伺いたいなどと活性化委員会の活動がやっと認められるようになって来ました。これも偏に皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。このように知名度が高くなったとは言え、皆様に喜んでいただくにはこれからであり、

更に施設や設備を良くしていかなければなりません。

現在、直面している問題としては、簡易宿泊所としての許可を得るためには、シャワーだけでは足りず、浴場の建設が必要となつてきております。他にも昨年から懸案のパーベキューハウスの建築や棟山山頂を開発して『星の広場』作りなど、宿泊のお客様に楽しんで頂ける付帯施設を計画しております。予算的には県や市の補助事業を受けながら進めていく方針ではありますが、手元資金なくしては前に進めることは出来ません。どうか今後安定した事業の推進と施設の充実に努めるためにも、地元の皆様から幾許かの資金援助を仰がねばならぬ時期が来ました。

後日、自治会役員様よりご依頼文と、これまでの取り組みの評価並びに今後の方向性についてのアンケート調査を配布させていただきます。何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

活性化委員誌



事務局 藤原 誠

十二月

五日(金) 小中老交流

六日(土) ふれあい喫茶
お絵描き教室

九日(火) 活性化委定例会
午後七時より

十二日(金) 与井温泉食堂へ
たかのす米三袋配達

大阪大学八名受入れ
宿泊・交流

十三日(土) 大阪大学現地学習
ふれあい食堂 神戸

新聞鈴木記者取材

十四日(日) 衆院選挙投票日
投票所

十七日(水) 炭焼き窯火入れ
悦夫・良明・勉・美奈子

十八日(木) 大雪臨時休校

十九日(金) 炭窯出し作業
悦夫・良明・勉・美奈子

二二日(月) 県市ソフト事業九
〇万円申請書提出
(市民局)

二三日(火) 子ども会による
クリスマス会・映画
会 十時〜四時食堂

二四日(水) 木炭箱詰め作業
十四箱

悦夫・良明・勉・隆・航
誠・美奈子

二五日(木) 体育館トイレ水道
工事(広石店)

二六日(金) 避難誘導灯取付け

三か所(村上電工)
二七日(土) 各室内鍵・畳粹取り
り付け工事(久古店)

一月

三日(土) 神戸新聞 写真入り
鷹巣報道記事掲載

七日(水) 木炭今井農園宅配
油庫ブロック撤壊作
業(八日(木))

九日(金) 兵庫県立大生
春キャンプ下見

十一日(日) ふれあい喫茶九時
消防訓練九時三〇分
とんど祭り十時

十二日(月) 神戸新聞論説記事
で鷹巣の活動を紹介
棟山看板図案作り

十三日(火) 山崎聖旨保育園
下見

十八日(日) パーベキューハウ
ス用輸材搬出二五本

二二日(木) 注文木炭たつの市
へ配達

二四日(土) 県主催野外活動研
修会で『たかのす小
学校』チラシ配布
ふれあい食堂三九
名参加

三〇日(金) 姫路より春休みキ
ャンプ下見

一日(日) ふれあい喫茶九時

映画会十時三〇分
一時三〇分
四日(水) 千種まちづくり推
進委で鷹巣の活動を
発表

文芸欄



暖冬との予報が今分では大ハズレ、北国では連日の猛吹雪。わが愛する地球がどうにかなくなってしまうのではと案じられる昨今。一方では、果てしなく続く人殺し…嫌な世相が繰り返り広げられている。一日でも早く平穩無事な世界が訪れますように。
白萩句会 (十二月分)
我が年を忘れて弾む忘年会
金 本 勉

忘年会二人の息のびつたりと
森 井 三千代

冬帝や山閉ぢの儀を観定めし
森 井 久江

豆をもぐ冬日を背ナに小半日
金 本 百々子

(一月分)
細長く我が道をゆく初詣
金 本 勉

柚子三個香り充満仕舞ひ風呂
森 井 三千代

真っ白なページ開きて初日記
森 井 久江

笑ひ皺一本増やし初写真
金 本 百々子